

# 外国語活動、外国語（英語）

## 令和7年度 授業改善のポイント

- 1 重点的に指導する領域を明確にした上で、その領域別目標の確実な達成に向けて適切な言語活動を設定し、繰り返し取り組めるように単元を構想する。
- 2 言語活動における児童生徒の学習状況に応じて、言語面（言語材料について）の指導と内容面（コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた内容について）の指導を行う。

## 言語活動を通して資質・能力を育成する指導の充実

### 【指導事例】Our School, Friends in New Zealand（中学校第1学年）

【重点的に指導する領域（話すこと〔やり取り〕ア）の目標】

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

#### Point1 領域別目標の確実な達成に向けた単元構想

##### ◆複数単元を通して段階的に力を高める指導

Unit 3とUnit 4では疑問詞で始まる疑問文を扱うから、二つの単元を通して、会話の流れに応じて関連する質問をしながら会話を継続・発展させる力を高めよう。

**重要** 表現や話題を変えながら、**領域別目標に合った言語活動**に繰り返し取り組ませることが大切です。そのために、複数単元を一つの大きな単元として構成し直して指導することも効果的です。

##### ◆言語材料を繰り返し活用する活動の設定

小学校の教科書に載っているSmall Talkのトピックを活用し、1分間即興で会話する活動をペアで毎時間行おう。

##### ◆学習状況の適切な評価

Unit 4終了後にパフォーマンステストを行い、全員分の学習状況を記録に残そう。

単元	帯活動	各授業で行う主な言語活動
Unit 3 (9時間)	身近な話題について 即興で会話する活動 (Small Talk)	・放課後や週末の過ごし方について即興で尋ね合う ・好きなものや好きなことについて即興で尋ね合う
Unit 4 (8時間)		・外国の学校生活についてALTに即興で尋ねる ・一日の生活について即興で尋ね合う
後日	身近な話題について、ALTと即興で1分間会話するパフォーマンステストを実施	

#### Point2 児童生徒の学習状況を基にした言語面と内容面の指導

**重要** 言語活動の途中で児童生徒が**自分の発話を振り返る**活動を設定し、発話のよさや改善点に気付いたり、発話を修正したりできるように促します。その際、**発話を文字起こしして可視化**すると、言語面や内容面により着目しやすくなります。また、パフォーマンステストにおける発話を振り返り、英語使用の正確さや表現内容の適切さを高めていくことも大切です。

【Unit 4（第5時）における指導場面】

- ◆音声を書き起こして話者ごとに色分けした対話をタブレット端末上で共有し、正しい表現に修正する

What do you do after dinner?

I usually listen to music.

Me, too.

What's music do you like?

J-pop. How about you?

I like K-pop.

Oh, you like K-pop.

I don't listen to K-pop.

What + 名詞で始まる疑問文を間違えて使っている生徒が多いな。

Everyone, let's check this dialog.  
Is this question OK?

What's musicでよかったかな？

What musicだったかも。教科書に似たような文があった気がする。確認してみよう。

##### ◆会話を継続・発展させる方法を考える

Now, read the dialog again.  
How can they keep talking?

相手のことを更に詳しく知るために、私なら、この後に好きなアーティストが誰かを尋ねたいな。Whoを使うと質問できそう。

**ICT** 録音した音声データを文書作成ソフトを活用して文字起こししたり、音声を即時に文字起こしできるアプリケーションを使用したりすると、効率よく**発話を可視化**することができます。

**重要** 発話を振り返った後、言語材料について理解したり練習したりする活動や伝える内容を再考する活動を必要に応じて行った上で、再度言語活動に取り組ませることが大切です。